

災害の激甚化に備えた
まちづくりと
復興の新しい
アプローチ

International Disaster Reduction Alliance Forum (DRA Forum 2026)

気候変動時代の 事前復興計画について考える

近年、日本のみならず世界レベルで地震や津波だけでなく、気候変動の影響による豪雨・洪水、高潮、山火事、熱波など、さまざまな災害リスクが高まっています。私たちは、こうした災害が発生した後の復旧・復興だけでなく、将来の災害を見据えて、あらかじめ地域の復興のあり方を考え、また今のうちからそれに備えたインフラを整えておくことが求められています。

本フォーラムでは、「事前復興」の考え方を出発点として、気候変動時代の新たな復興のあり方について考えていきます。

国際防災・人道支援フォーラム2026

日時

令和8年(2026年)

11月19日 13:30・16:40

場所

神戸ポートピアホテル
「偕楽の間」

神戸市中央区港島中町6丁目10-1
※ポートライナー「市民広場」駅下車すぐ

プログラム

日英同時通訳

基調講演 I 13:50～14:20 / 総括

事前復興計画とは
意義と課題

河田 恵昭

国際防災・人道支援協議会 会長
人と防災未来センター長



基調講演 II 14:20～14:45

気候変動時代の事前復興計画
「適応復興計画」を目指して

中北 英一

京都大学 総長特別補佐 名誉教授
日本気象協会 常勤顧問



パネルディスカッション 14:55～16:30

コーディネーター

多々納 裕一

京都大学防災研究所
気候変動適応研究センター
センター長・教授



パネリスト

陳 亮全

国立台湾大学建築都市
農村研究所非常勤教授
台湾国立防災救助
科学技術センター
前センター長



パネリスト

加藤 孝明

東京大学生産技術研究所
教授
東京大学社会科学研究所
特任教授



パネリスト

中北 英一

京都大学 総長特別補佐
名誉教授
日本気象協会 常勤顧問



パネリスト

木村 玲欧

兵庫県立大学環境人間学部・
大学院環境人間学研究科
教授



参加
方法
無料

①会場での参加をご希望される場合

人と防災未来センターホームページからお申し込み
ください。

<https://www.dri.ne.jp/research/community/dra/forum/forum2026/entry/>

※定員(100人)に達し次第、募集を締め切ります。



会場参加申込
フォーム

②YouTubeでの視聴をご希望される場合

当日、人と防災未来センターホームページから、YouTubeで
の同時配信をご覧いただくことができます(事前申込不要)。

※詳細については、人と防災未来センターのホームページより
お知らせします。

人と防災未来センターのホームページ

<https://www.dri.ne.jp/>

主催 国際防災・人道支援フォーラム実行委員会

兵庫県、ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究戦略センター、
人と防災未来センター、アジア太平洋地球変動研究ネットワーク (APN)、
国際防災・人道支援協議会 (DRA)

後援 朝日新聞社、神戸新聞社

問合せ先

国際防災・人道支援フォーラム実行委員会事務局
(人と防災未来センター普及課内)

〒651-0073

神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 西館6階

電話: 078-262-5066

